

KAWASAKI KEIBA Race Horse Owners News

川崎競馬 馬主協会ニュース No.36

発行 平成30年6月25日
発行者 一般社団法人 神奈川県馬主協会
会長 加藤豊三
〒210-0011
神奈川県川崎市川崎区富士見1丁目5番1号
TEL.044-246-5050

ご挨拶

神奈川県馬主協会会員の皆様におかれましては、日頃より川崎競馬の開催にあたりまして多大なご協力、並びにご指導、ご鞭撻を賜り心からお礼申し上げます。

昨年度の川崎競馬の開催実績については、年間売上金が前年度比7.6%増の680億8,900余万円となり、平成2年度に記録した川崎競馬の売上金664億3,619万円を27年ぶりに更新しました。また、年間総入場者数についても前年度比8.6%増の210万4,900余万人となり、42年ぶりに200万人を突破することができました。

これも、馬主協会をはじめとする競馬関係者の皆様や競馬ファンなど多くの方々のお陰であると考えております。この場をお借りいたしまして、厚くお礼申し上げます。

さて、これからの川崎競馬のさらなる発展のために必要なことの1つに、強い馬づくりがあります。強い馬のレースを見たことが競馬ファンとなるきっかけになることも少なくありません。スターホースとしての活躍が期待できる馬を少しでも多く小向きゅう舎に置いていただくことが重要であると考えておりますので、馬主の皆様には、引き続きご協力をいただきますようお願い申し上げます。

また、平成30年度の重点施策として、にぎわいのある競馬場づくりに取り組んでおります。JRAファンの川崎競馬への誘客に努めるとともに、ファミリー層が楽しめるイベントを充実強化して実施することにより、WINSを含めた総売上及び総入場者数の拡大を目指しております。

施設整備関連では、1号スタンド西側の検量室を中心としたエリアの大規模改修を進めているところであり、検量室を再整備するとともに、エレベーターを新たに2基増設します。これらの整備は来年2月に完了予定であり、馬主の皆様の入場・移動の際の利便性がおいに向上することになります。

平成30年度も本場売上、本場入場者数とも昨年度を上回る勢いで順調に推移しておりますが、引き続き公正かつ円滑な競馬を着実に実施し、川崎競馬をより一層盛り上げてまいりますので、改めてご協力をお願い申し上げます、ご挨拶とさせていただきます。

神奈川県川崎競馬組合 副管理者 筒浦浩久



ご挨拶

青葉が、一段と目に映える季節になりました。会員の皆様におかれましては、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、先般開催の定時総会におきまして、会員の皆様のご理解とご協力のもとに、無事にふたつの議事の賛同を得ましたことにつき、当馬主協会役員一同を代表しまして、心から御礼申し上げます。

特に、平成31年度から会員の皆様には、協会事業の充実と会員サービス向上のために会費を3万円に増額する負担増をお願いしました。

定時総会の日に、当協会は、神奈川県調教師会会長に山崎尋美氏が就任しましたお祝いを開催し、川崎競馬をさらに良くするため、馬主協会役員と調教師会役員との意思疎通を密にすることを改めて確認しました。

すでに会員の皆様には、号外をもってご案内のとおり、川崎競馬の昨年度の売上金が680億円余の新記録(旧記録は、バブル時の平成2年度)を達成し、入場者も3年連続増加し、37万人を超えました。このような川崎競馬の好成績は、言うまでもなく、競馬組合をはじめに競馬サークル関係者の日ごろの経営努力の賜物です。

私ども馬主協会役員一同は、12名の少数精鋭のもとに一丸となって、川崎競馬振興と会員サービス向上に取り組んでおります。その成果の一端として、予算額の大幅増並びに出走手当・着外手当等が理論上、1出走で19万円に増額になりました。なお、当協会の会員数が、8年前の約290名から現在約420名に増加し、本年度中に460名に達すると想定しております。この数字は、馬主の皆様の川崎競馬に対する熱い思いの象徴です。

「強い馬づくり」には、馬主経済の充実及びきゅう舎環境の整備等が肝要と考えております。川崎競馬場のきゅう舎に会員の愛馬が1頭でも多く在きゅうし、小向きゅう舎の在きゅう馬のみでも川崎競馬開催が可能になることを目標とし、会員馬主の出走手当等及び賞金のさらなる増額が必要と認識しており、来年度以降の課題とっております。

地方競馬と中央競馬の格差は、新馬登録頭数において、地方1,700頭、中央4,700頭(H27年のデータ)という数字に表れております。ハイセイコーの時代は、この逆の数字でした。このような厳しい現実にも拘わらず、会員の皆様が、今後も川崎競馬に参画していただき、心から馬主ライフを楽しまれ、充実感を味わっていただくため、会員の待遇改善策に取り組んでまいりますので、会員の皆様の一層のご理解とご支援を役員一同伏してお礼申し上げます。

一般社団法人 神奈川県馬主協会 会長 加藤豊三



馬主の皆様へ *当協会の会員限定の特典です。

- 川崎競馬出走奨励金：11万円(重賞等は、別に定める)
 - 着外馬への手当(増額)：主催者から15万円、馬主協会から3万円⇒18万円
 - 川崎競馬場所属騎手騎乗奨励金(増額)：1万円
 - すべての競走入着奨励金(拡充)：一律1万円
 - 川崎記念・エンプレス杯・スパーキングレディーカップ出走(継続)：30万円
 - 2歳新馬(3歳3月末日までに共済制度加入が条件)奨励金(増額)：一律100万円(105頭上限)
 - 高額馬奨励金：抽選による20名の馬主にセリ価格(消費税抜き)の40%(上限：200万円)を助成する。(共済制度加入が条件)
 - JRA認定競走競走優勝馬(3歳末日までに南関東で1走が条件)：50万円(5頭上限)
 - 3歳JRA転入馬(3歳中に、南関東で1走が条件)奨励金(増額)：30万円(50頭上限)
 - Jpn競走6～8着馬へ特別付加奨励金(新設)：1着賞金の3～1%
 - 共済制度の特典：休養から帰きゅうし再出走した馬並びに長期在きゅうした馬に付加金を支払います。
※平成30年度から見舞金の増額見直しをしました。
 - 坂路施設遠征に対する助成(原則4歳馬まで、80万円/頭、枠：15頭、認定外きゅう馬を除く)
- *奨励馬・共済制度には守るべき義務等もありますので、詳細は事務局にお問合せください。

高額馬奨励金の抽選会について

平成30年5月17日(木)13時半から、神奈川県川崎競馬組合3階馬主役員室において「高額馬奨励金の抽選会」を行いましたので、報告します。本制度は2年目に入り、応募総数138名と、昨年より30名増加しました。会員ご本人、預託調教師、当協会監事により抽選が行われ、昨年度より5名増加した20名の当選者を決める抽選作業を行いました。厳選な抽選作業の円滑な進行にご協力いただき、感謝申し上げます。

本年度は、1歳馬のセリ購入馬に限定して助成します。開始年度と同様にセリ価格の40%を助成することとし、助成限度額は200万円です。助成額のうち四分の一は、当協会が負担します。当選された会員がセリで優駿に巡り会われ、その愛馬が、川崎競馬場で活躍することを願っています。

栄えある当選会員は、次の方々です。

遠藤喜松様、小阪優友様、小林篤様、井出慶佑様、小松芳子様、秋谷壽之様、志村幸彦様、大戸時子様、中村秀之様、前田敏文様、梶原哲朗様、菅波雅巳様、飯田正剛様、(株)門別牧場様、米津佳昭様、(有)山崎牧場様、田中準市様、山下繁美様、宇佐美隆様、中野辰三様の20名です(応募順)。ご当選、おめでとうございます。

なお、本制度の恩恵を多くの会員の方々に受けていただきたいので、本年度高額馬奨励金の仮決定を受けた方は、平成31年度も本事業が継続する場合は、1年間応募はできませんので、ご理解ください。

金子正彦の Jockey Life ジョッキーライフ

金子正彦元騎手が聞く川崎ジョッキーズの素顔。

Jockey Life インタビューの第一回にご登場いただくのは今野忠成騎手です。

【金子】 いやあ、波に乗ってるね。東京プリンセス賞、川崎マイルズと2週続けて重賞連勝はなかなかできることではない。さすが南関東を代表する名手のひとりですね。

【今野】 数字は嘘をつかないっていうけど、正直、今年は物足りない状況だったので不安に思うこともあった。そんなときに2週連続して重賞を勝てたことは自信になりました。東京プリンセス賞を勝ったグラヴィオーラは男馬に入ってもヒケを取らない力のある馬だし、川崎マイルズを勝ったウェイトアンドシーはレースの上手な馬。どちらも今後の重賞戦線でも楽しみ。まだまだがんばらないと！

【金子】 今野騎手と言えば牝馬に強いイメージがあるよね。東京プリンセス賞もこれで5勝目というのは歴代トップの勝利数。牝馬に力を出させる何か秘訣があるの？

【今野】 男馬は何事にも対応できる馬が多いけど、女の子はちょっとしたことで急にゲートや馬込みを嫌がったりしてスイッチが入ってしまう繊細さがあるから、できるだけその馬ごとにいつもと変わらない接し方をすること。女性を扱うのと同じです（笑）。ハミをのかけ方も馬によって変えるし、あまりヨシヨシと優しくしすぎず、スイッチがギリギリ入らないようレースで一番いい闘争心を出させるイメージ。

自分でも牝馬での勝ち鞍が多いのは自覚あります（笑）



撮影：真鍋元

【金子】 今春には川崎競馬組合の管理者表彰も受賞。長年にわたり騎手会長として尽力してきたことが認められて表彰されたんだと思うけど、毎日のようにレース乗ってるだけでも忙しいのに会長という役職を務めるのは大変なことだと思うし、もう12年でしょ。

【今野】 みんな、困ったときだけ会長、会長と言ってきますからね（笑）

【金子】 困ったときと言うと？

【今野】 会長としてもうこれではレースができないと判断しなければならなかった時ですね。台風や雪で開催中止にするかどうかになって、レースに行ける状態が待機はしてるんですけど、みんなの意見も聞いてこれは無理だ、危険だと思えば主催者に強く訴えるしかない。主催者や調教師はやれるだろうと思って何かあって怪我するのは僕らなんです。それぞれの立場もわかるんで困りましたね。

【金子】 そのぶん、やりがいもあるのでは？

【今野】 他地区への騎手交流レースに誰を出場させるかなどの細かい決定事項も案外多くて、それも決めなければならない。今は他地区から騎手が期間限定騎乗に来ますし、川崎からも行く。そういう相談もあるので、家に呼んで話を聞いたり、アドバイスしたり。相談されると放っておけないタイプなもんで。

辞めたいとか、調教師を目指したいとか、いろいろありますよ。

【金子】 さすが、川崎競馬の兄貴分！ コンちゃんはホント面倒見がいいと思う。騎手としても2432勝（5月21日現在）。2500勝も見えてきた。

【今野】 半分、多いかなって気持ちと、半分、これじゃ少ないって感じも。同期には名古屋の岡部誠（3463勝）、高知の赤岡修次（3441勝）がいますからね。心のどこかでは物足りなさも正直ありますよね。

【金子】 このまま行けば3000勝もそう遠くなさそうだよ。南関東で3000勝挙げるのは大変なこと。でも、コンちゃんには目指してほしいよ。川崎では佐々木竹見さん以外ない数字だから。

【今野】 3000勝？ 無理無理（笑）。今は2500勝を意識してがんばって、3000勝のことはそれから考えます（笑）

【金子】 今野騎手っていうと乗り替わりに強いイメージもあるよね。あとはここの一番の大レースに強い。肝が据わってるんだろうな。勝って当たり前っていうような人気馬に乗るときにプレッシャーはないの？

【今野】 返し馬で落ちないようにすることとゲートで遅れないようにすることだけですね。もちろんプレッシャーはありますけど、自分のなかでいくつもパターンを組み立ててレースに向かいますから。乗り替わりに強いっていうのは自分が乗っている以外の時もレースを見ているっていうのが大きいんでしょうね。

【金子】 前に乗ってた騎手とは違う乗り方をしようと思うのでは？

【今野】 もしそれまで結果が出ていなければこれまでと違う乗り方をしてみようと思いますね。オーナーさんの意見や調教師の指示はもちろんですけど、返し馬をしたときの感触から指示とは違う乗り方をさせてもらうこともあります。

【金子】 毎日のように競馬に乗っているとストレスもたまるとは？ 納得した騎乗ができる日もあれば、そうではない日もある。これはってストレス解消はあるの？

【今野】 たとえ着順は悪くても納得行く騎乗ができたレース映像を見ながら酒を飲みます（笑）。一日のレースをふり返って、馬の力を100%発揮できたレースはどれかって分析してみたり。勝ったレースの映像見ながらの晩酌は最高です（笑）。

【金子】 騎乗を見てると追い込みの姿勢は変わってきてるけど、道中のフォームは変わらないよね。たとえば鏡の長さとかどうしてるの？

【今野】 もちろん馬によりますが、若いときに比べたら鏡は長くしてますね。鏡は短いほど馬への負担は少ないけど、まっすぐ走らせるには多少長くした方が自分の重心がブレないっていうのはありますからね。

【金子】 今のかたちが完成形？

【今野】 まだまだ改良するつもり。馬それぞれに合わせた乗り方をするにしてもコブシの位置をもっと下げようかと思ってる。

【金子】 馬の重心の位置は一頭一頭違うもんね。これだけたくさん勝っているけど、競馬で勝つって何が一番大事だと思う？

【今野】 引退した秋山重美調教師に言われた印象深い言葉があって、「レースはあわてた時点で負け」ってこと。あっ、とあわてた一瞬でもう負けてる。一番いい乗り方をしたとき、ゲートで遅れて最後方からになったとか最悪のケースも頭の中で準備しておいてゲートから出せと。

【金子】 コンちゃんから見て、川崎の騎手でこいつは伸びそうだなと思う若手はいる？

【今野】 伊藤（裕人）だね。チャンスさえ与えられればガンと伸びてくるはず。綺麗に乗ってくるし、乗りづらいうような馬でもキチンと乗って来るよね。若いのに落ち着いていてバタバタあわてないところもいい。

【金子】 伊藤は姿勢も綺麗だよ。俺は「川崎の武豊」って言うてる（笑）。あれは年に10勝程度の腕じゃない。ぜひチャンスに恵まれてほしい。

【金子】 休みのときはどんな過ごし方をしてる？

【今野】 マッサージ行くか寝てます（笑）。怪我してから特に身体のメンテナンスは大事にしています。

【金子】 大きな怪我を2回もしたもんね。あれだけの思いをしたらレースで怖くなったりすることないの？

【今野】 実はどちらの怪我のときも落ちたときのことはよ



撮影：真鍋元

く覚えていないんです。1回目は頭蓋骨骨折、くも膜下骨折、足首骨折やったのに20日間くらい記憶がない。あの時のことは鞍付けをしたところまでしか覚えてません。返し馬もレースも何も。

【金子】 あれだけの怪我をしながら二ヶ月で騎乗復帰したからびっくりしたよ。

【今野】 5月に落ちて、7月にはもう乗ってました。病院で全身管だらけなのにバツと起きて、あ〜出遅れたって攻め馬に行こうと管を外して立とうとしたら足が折れて立てなかった（笑）

【金子】 たくさん重賞を勝ってる中でも、これはって印象深いレースある？

【今野】 一番最初にインテリパワーで勝った金盃ですね。デビューしてそれなりに勝ち鞍はあったんですけど、なかなか重賞が勝てなくてね、これでやっと騎手の仲間入りできた気がした。東京ダービー勝ちも一番稼がせてくれた馬もいますけど、あの金盃は特別ですね。

【金子】 ユキチャンやフリオーソなどダートグレードでも活躍しているよね。一番スピードあると思った馬は？

【今野】 やっぱフリオーソ。戦車みたいな馬でね、すごく走るのが好きなんだよね。ジャパントウダービーで初めて乗ったんだけど、それまで石崎さんや内田さんが乗っているレースを見て、弾けて切れるイメージはなく、同じように走ってバテないタイプだと思ってハナに行ったんだ。

【金子】 そうそう。コンちゃんは自分の育った施設に毎年寄付もしてるんだね。

【今野】 親方（鈴木敏一調教師）に言われて始めたんですが、デビューの翌年から毎年クリスマスの頃に御園子供の家を訪ねることにしています。

【金子】 23年も続いているのはすごい。フィランソロフィー表彰もされた。寄付が1000万円も超えて記念にマリア像も建てられた。

もう、デビューから24年かあ。今後これをしたいって目標はある？

【今野】 実は川崎記念をまだ勝っていない。というか川崎所属なのに5回くらいしか乗ったことがない（笑）

【金子】 なんとでも勝ってほしいよ！ 川崎を代表する騎手のひとりとしてまだまだ走り続けてください。



■今野忠成（この・ただなり）騎手プロフィール

1977年3月4日、神奈川県出身
安池成実厩舎所属。平成6年10月15日ハーバーリファールで騎手デビューし50戦目で初勝利を挙げるとまたたく間にトップジョッキーに駆け上がり、重賞タイトルは42勝。地方競馬通算2500勝も見えてきている。勝負服は胴緑、そで白・緑二本輪

★金子正彦プロフィール

1962年11月12日神奈川県出身。
1979年11月19日の騎手デビューから16,482戦1,227勝を挙げ昨年3月に引退。重賞勝ち東京ダービー（サイレントスタメン）、浦和記念（モエレトレジャー）、桜花賞（ミライ）、ハイセイコー記念（ソルテ）など11勝。

南関東魂

なんかんだましい
高橋華代子の南関東競馬



～阪上忠匡騎手、34歳再デビュー！～

この春から川崎競馬場に新しい騎手が仲間入りをしました。阪上忠匡（さかうただまさ）騎手は34歳、佐々木仁厩舎所属。そもそもは2003年に笠松競馬場からデビューし、南関東の重賞戦線で大活躍したカキツバタロイヤル（現在は種牡馬）の笠松時代の主戦として、共に重賞勝ちを収めたことでも知られています。

2011年に騎手を引退すると、現役時代に期間限定騎乗で過ごして馴染みのあった南関東競馬へ。大井と川崎で厩務員や調教専門厩務員を行いながら、再び騎手になる日を夢見てきたそうです。7年の歳月を経て、ついに再デビュー。「長いようであつという間でした。佐々木仁先生や関わってくださった皆さんの後押しがあったお陰なので、本当に感謝しています」（阪上騎手）。



阪上忠匡騎手

師匠の佐々木調教師からも、「とても真面目」と言われていて、そういう仕事に対する基本的な姿勢は、どの分野においても非常に大切なことでしょう。

阪上騎手の勝負服は、『胴緑・胴そで黄星散らし、そで黒』。笠松時代のデザインで再デビューしたかったそうですが、勝負服は地区ごとにデザインや色の規定が違い、南関東では笠松時代のものが使用できなかったそうです。「前は十字たすきを使っていましたが南関東では使えなかったの、十字たすきの次に好きなマークは星かなと。南関東は星のイメージもありますし



関東オークスでの阪上騎手とスリストサスペンス号

ね。色は黄色と緑が好きで、黄色には黒が映えるかなと思って、この勝負服にしました」。6月13日に実施した関東オークスでは、笠松からの遠征馬フリオソ産駒のスリストサスペンスに騎乗（12着）。「乗せて頂けたことは本当にありがたいことですし、笠松の縁で乗せて頂けたのもうれしいです」。

競馬の世界は、一人の力だけではレースに出ることも勝つこともできません。サラブレッドという生き物に対し、関係者はプライドを持って接しているからこそ、いろんな考えや感じ方が生じてくるのも、自然なことだと思います。阪上騎手は、騎手以外にも厩務員と調教専門厩務員を経験し、それぞれの気持ちを理解できていることは、今後も武器になっていくでしょう。34歳からの再出発、これから川崎競馬場でどんな存在になっていくのか楽しみです！

～川崎生え抜き馬ゴールドパテック、グランダムジャパン3歳シーズン優勝！～

6月13日に川崎競馬場で実施した南関東牝馬クラシック3冠目の関東オークス。川崎から唯一参戦した山崎誠士騎手のゴールドパテック（馬主・岡田初江様、川崎・岩本洋厩舎）は2着でした。道中は4番手から追走し、勝負所で進出していくと、最後の直線で先頭に立つも交わされてしまい、涙を吞みました。優勝したハービンマオ（馬主・森口隆一郎様、中央・中館英二厩舎）に4分の3馬身差。しかし、グランダムジャパン3歳シーズンはポイント加算で逆転し、見事総合優勝を果たしました。



グランダムジャパン3歳シーズン優勝 ゴールドパテック号

「レース前はグランダムジャパンのことを意識していませんでしたが、ポイントをちゃんと取れたのはすばらしいことです。馬も誠士も頑張ってくれたし、スタッフたちも一生懸命に取り組んでくれたので、その結果かなと思っています。これからは無事に育って行って欲しいです」（岩本調教師）。

最近のダートグレードレースは中央馬の強さに圧倒されることが多々ありますが、南関東ファンとしては、川崎生え抜き馬が大舞台で中央馬と果敢に戦った姿は、胸を打ちました。ゴールドパテックは、今年の南関東牝馬3冠レースに全て出走した唯一の馬です。本当にお疲れ様でした！これからの活躍も期待しております！

～国内最高齢騎乗・森下博騎手、日々記録更新中！～

5月4日のお誕生日で63歳になった川崎の大ベテラン・森下博騎手。国内最高齢騎乗記録と南関東最高齢勝利記録を持っている、偉大なレジェンドです。森下騎手が騎乗しているという事は、その瞬間が記録更新。国内最高齢勝利は、金沢の騎手だった山中利夫さんが62歳9か月25日の記録を持っているそうで、森下騎手が次に勝った時は、その国内最高齢勝利記録も更新することになります（地方競馬全国協会調べ）。今後も森下騎手のひと鞍ひと鞍から目が離せません！



川崎の大ベテラン森下騎手

（文・写真 高橋 華代子）

特別レース 勝利馬

関係者の皆様おめでとうございます！

開催日	レース	馬名	馬主名	所属厩舎
H30.4.2	10R 京浜急行バス杯 C 1(三)	ハヤブサザムライ	(有) グランド牧場	佐々木仁
H30.4.2	11R 京急創立120周年記念 B 3(二)	ツナグテ	佐久間拓士	林隆之
H30.4.3	10R 春眠特別 B 3 C 1	クラールハーモニー	日下部勝徳	高月賢一
H30.4.4	9R エイプリルフラワー賞 3歳	ポンドゼルク	池澤達哉	山崎裕也
H30.4.4	10R 花衣特別 B 1(二) B 2(一)	セイジーニース	金田成基	八木正喜
H30.4.4	12R 夜桜特別 B 3(三)	レジェンドセプター	山口圭子	久保勇
H30.4.5	6R 菜の花特別 3歳(一)	ステラピンク	吉橋英隆	佐々木仁
H30.4.5	9R 韋駄天特別 B 2 B 3	ラディヴィナ	日下部勝徳	高月賢一
H30.4.5	10R 爽春特別 B 3(一)	ターミガン	宮崎時子	内田勝義
H30.4.6	7R 山吹特別 3歳(二)	デランブル	吉田晴哉	内田勝義
H30.4.6	10R 花吹雪特別 B 2 B 3	トウカイボーイ	内村正則	八木仁
H30.4.6	12R 桜貝特別 C 1(一)	ポイントパイパー	(有) 下屋敷牧場	福島秀夫
H30.5.14	9R 山女特別 C 1(三)	サンボストン	(株) 加藤ステーブル	池田孝

H30.5.14	10R 第10回開成町瀬戸屋敷風鈴まつり特別 B2B3	クインズカリナン	亀田和弘	佐藤博紀
H30.5.14	11R 第31回開成町あじさいまつり特別 B 3	ブレイクオンスルー	(有) グランド牧場	内田勝義
H30.5.14	12R 第31回開成町阿波おどり特別 C 2(二)	コスモボルカ	鈴木教弘	河津裕昭
H30.5.15	10R 電光石火特別 B 2 B 3	ケイエスソード	高田喜嘉	鈴木義久
H30.5.15	12R 薫風特別 C 1(二)	カジノシップ	窪田康志	山崎尋美
H30.5.16	10R メイスター賞 B 2 B 3	ファージンゲール	吉田和美	内田勝義
H30.5.17	12R 薄暮特別 C 2(一)	ルミノール	薪浦州平	平田正一
H30.5.18	7R カーネーション特別 3歳(二)	ビヨンドボーダーズ	松本あけみ	林隆之
H30.5.18	10R 小田原開府五百年記念特別 B 2 B 3	レジェンドセプター	山口圭子	久保勇
H30.5.18	11R 小田原市特別 B 2(二)	アップドラフト	色川暁郎	河津裕昭
H30.5.18	12R 北条早雲公顕彰五百年記念特別 C 1(一)	オーネットダンディ	(有) トニー企画	高月賢一

*敬称略

益々のご活躍をお祈りします！



山田正実調教師は宮崎県出身。宮崎といえば九州の馬産地のひとつだが、生まれ育ったのは西都市で競馬とも馬産とも縁のない土地柄だった。実家は建築土建業で、7人兄弟の下から2番目。身内にも競馬関係者はいなかった。中学校の教師をやっている叔父さんが大分県にあった中津競馬に馬を持っていたのが競馬との縁。「身体が小さかったし運動会でもすばしっこかったから騎手になってはどうかと勧められ、中津競馬場の厩舎に馬を見に行っただけのことある。その頃、宮崎には毎年のように川崎の調教師たちが猪狩りに来ていて、うちの兄貴が案内役だったことから川崎に来ないかと話があった」と14歳の秋、修学旅行から帰った翌日に川崎にやって来た。「騎手になると決めたからには騎手になるまで帰らない」と宣言して実家を出たという。三橋三吉調教師のもとに弟子入りすると中学校に行きながら厩舎での生活が始まった。

騎手学校に入所したのは中学を卒業し下乗りとして1年修行した後。同期の中でも一番小さかったはずの身体が急成長して、「そこからずっと減量との戦いだった」という。1970年4月21日に騎手デビュー。「コロナランドというアラブに騎乗して初騎乗初勝ち。自厩舎の馬だったんだけど、長谷川茂さんがハナに行って俺は2番手。三番人気くらいだったかな。直線抜け



出して最後は2馬身差つけた。スタンドからの歓声まで覚えているよ」と忘れられない初陣だった。センスの良い騎乗ぶりであったという間に勝ち鞍を増やし、『佐々木竹見の再来』と称されたこともあった。しかし減量との闘いは続き、レースに乗るには3キロほどの体重を落とさなければならぬ。競馬開催中は食べ物ほとんど口にできなかった。「取るのは水分だけ。寝酒の缶ビールだけが楽しみだった。よく身体が壊れな

かったよね(笑)。長く続けるのは無理だと30歳から調教師試験を受け始めた」と、3650戦307勝でステッキを置いた。



ギンザグリングラス産駒ミナノキング

33歳で調教師へと転向。2000年にはノトテイオーで第44回平和賞を優勝。一番人気で差しきってクラシック候補にも名を連ねた。ところがその後、屈腱炎を発症していることが判明。重賞制覇の代償は大きかった。ギンザグリングラスも印象深い一頭。短距離を中心に9歳まで走って生涯成績は109戦3勝の無事名馬。重賞出走経験のないC級馬であったが「希有なメジロマックイーン系の血筋を残したい」という現オーナーの希望があって種牡馬入り。今春から初年度産駒が2歳となり父親と同じ山田厩舎にはミナノキング(母キョウエイプレア)が入厩。5月に新馬戦デビューを果たした。「体型や気性は父親そっくり。ただ跳びが綺麗で軽い走りだから芝を走らせてみたら合うのかもしれない。距離延びて良さが出そうだね」と父仔二代を手掛けるのは喜びだと言う。4月からはギンザグリングラスの主戦騎手でもあった岩城厩務員がスタッフに加わって担当している。

「もう65歳になったが馬を壊さないようにと大事に向き合ってきたつもり。そうそう、今年に入って調教に跨がったんだよ。騎手の負傷が続いて仕方なくだったんだが3、4日ほど角馬場で軽いところ乗った。もう腰に反動が来て参っちゃったよ」と根っからの馬好き。「騎手になるまで帰らない」と宣言して家を出た日から50年が過ぎたが、頑固でまっすぐな九州男児の気概で馬と共に歩む。



(文・写真 中川 明美)

祝・グランダムジャパン3歳シーズン優勝！ ゴールドパテック号

関東オークスで地方馬最先着の2着となったゴールドパテック号がエクストラポイントを獲得し、合計33ポイントでグランダム・ジャパン3歳シーズン総合優勝を果たしました！

馬主：岡田初江 調教師：岩本洋



関係者の皆様おめでとうございます！！ *敬称略

祝・重賞優勝！



H30.4.25 浦和11R 第56回しらさぎ賞(SIII)

ラーゴブルー号

馬主：吉田和美 調教師：内田勝義 騎手：吉原寛人

祝・新馬戦優勝！



H30.5.18 川崎1R スパーキングデビュー新馬2歳

セイシャレード号

馬主：金田成基 調教師：八木正喜 騎手：森泰斗

平成30年度定時総会について

平成30年5月19日土曜日14時から、川崎競馬場1号館5階来賓室で、当協会の定時総会を開催しました。本総会の主たる議案は「会費の増額」で、2年間理事会で協議をしてきましたが、会員数が400を突破し、これからの当協会の健全な運営を図るため、提案に踏み切ることとしました。

結果、1号議案(29年度計算書類承認の件)については、賛成242票で可決成立、2号議案(会費増の件)についても、賛成217で可決成立しました(過半数:208)。会費増につきましては、協会事業の充実と会員へのサービス充実が提案の理由です。理事会で、真摯な議論を積み上げ、会員の皆様が入会してよかったと思える様な健全な運営に努めてまいりますので、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

出席会員からのご意見として、ピラミッドの底辺を厚くし、在きゅう馬を増やすことが、優秀な馬を輩出する環境として重要なポイントであることから、在きゅう馬を増やす施策を積極的に検討して欲しいという要望が出され、役員一同真摯に受けとめました。

一般社団法人
神奈川県馬主協会

電話 044-246-5050
FAX 044-245-8090

事務局紹介

事務局長 沖村 朋彦
事務史員 俵谷 奈苗
(馬主会入会、経理等)
事務補助 粕谷 知美
(共済、奨励馬)

平成30年6月1日現在

会員数 421

川崎競馬場トピックス！

- ・川崎競馬売り上げ記録樹立(29年度:680億円余)
- ・当協会会員数が、400(個人・法人会員)を突破
- ・小向きゅう舎内馬道のゴムチップ舗装工事が完了(愛馬の充実した引き運動実現)

新会員紹介 *敬称略

4月	星野 康三	三重県
	梶原 哲朗	千葉県
	藤樫 勇氣	広島県
	(株)ダイヤモンド	大阪府
	(株)レックス	北海道
	(有)フォレブルー	青森県
5月	高橋 福三郎	岩手県
	高橋 文枝	岩手県
	鈴木 雅俊	宮城県
	(株)門別牧場	北海道
	小檜山 智之	東京都
	アークロソティア(株)	神奈川県
6月	須山 悟至	岡山県
	乙訓 史樹	東京都
	山内 昇	北海道
	(有)社台レースホース	東京都
	(有)サンデーレーシング	東京都
	山口 良成	東京都
6月	(株)G1レーシング	東京都
	吉永 正志	北海道
	伊藤 とみ枝	群馬県
	富田 藤男	埼玉県
6月	シグラップ・マネジメント(株)	東京都
	白崎 光和	神奈川県
	窪田 芳郎	東京都

ご入会ありがとうございます。

おかげさまで協会の会員数が、現在約420名に増加し、本年度中に460名に達すると想定しております。